

西本副委員長（民主県政会）

令和8年3月11日

教育長答弁実録

（教育委員会）

（問）学校におけるトイレの洋式化について

令和8年度当初予算における、県立学校施設設備整備事業のうち、トイレの洋式化に係る予算額はいくらか、また、令和8年度に県立高校のトイレの洋式化率を何%まで引き上げるのか、加えて、100%はいつ達成する見込みなのか、教育長に伺う。

さらに、公立小中学校のトイレの洋式化率の現状と、これを踏まえ、国への要請や市町への働きかけを、令和8年度にどのように進めるのか、併せて教育長に伺う。

（答）

県立学校におけるトイレの洋式化に係る令和8年度当初予算につきましては、8,500万円を計上しているほか、内部改修を行う校舎の全てのトイレを洋式化することとしており、令和8年度末の洋式化率は、約78パーセントになると見込んでおります。

今後の洋式化の見込みにつきましては、使用頻度や設置場所の状況から、全てのトイレの洋式化を必要としない学校もあり、現時点において、完全洋式化は見込んでおりませんが、引き続き、学校の要望や使用実態を踏まえながら、必要なトイレの洋式化を着実に進めてまいります。

また、県内公立小中学校のトイレの洋式化の現状につきましては、令和5年度の国の調査で63.9パーセントとなって以降、調査は行われておりませんが、その後も、7市町193校におきまして、国の交付金を活用したトイレの洋式化が実施されているところでございます。

今後は、国に対し、必要な予算の総額の確保や補助率の引上げなどについて、働きかけるとともに、市町に対しましては、国の交付金制度等を活用したトイレの洋式化を働きかけてまいります。